

保護者様

平成23年12月22日

福岡市立松崎中学校  
校長 宮田 康司

## 平成23年度福岡県における学力・学習状況調査結果について

### 1 はじめに

本年度は、平成19年から行われてきた平成23年4月19日実施予定の全国学力・学習状況調査が東日本大震災の影響で取り止めとなり、その代替として福岡県単位の学力・学習状況調査が本校で9月27日に実施されました。今の3年生が小学校の6年の時の個人票と今回のものと比較していただければ、お子様の3年間の変容を確認することができます。今回の調査も今まで同様国語、数学A(主として「知識」に関する問題)、B(主として「活用」に関する問題)と意識調査になっております。松崎中学校の調査結果が11月30日に送られて参りましたので、その調査結果の概要について報告いたします。

### 2 調査日

平成23年9月27日

### 3 調査対象

中学3年生 全集計 約120,000名  
福岡県(公立) 約42,700名  
本校 140名



### 4 調査内容

- (1) 学力調査(国語、数学)  
A(主として「知識」に関する問題)  
B(主として「活用」に関する問題)
- (2) 学習状況調査 質問項目 77  
・生徒に関する調査項目: 学習意欲、学習方法、生活の側面

### 5 学力調査結果

国語: A、B共に正答率は全集計平均、福岡県(公立)平均を「やや上回っている」。  
数学: Aの正答率は全集計平均、福岡県(公立)平均と「同程度であり」、Bは「やや上回っている」。

### 6 学力調査の分析結果

国語

- A: 言語に対する知識・理解・技能は概ねできており、文脈に即して漢字を読むことはできるものの、書くことができてない。また、正しく敬語を使ったり、漢字の楷書と行書との違い等の理解をしたりするところが不十分などがある。読むこと、書くことについては、文章から課題を見つけ自分の考えをまとめることが苦手である。しかし、話すこと・聞くことについては聞き手の反応を踏まえながら、表現に注意しながら的確に話すことができています。
- B: 文章の内容を的確に捉えたり、必要な情報を探し、関連させながら読んだりすることはできています。しかし、書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書いたり、文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結びつけて自分の考えを書いたりすることができていない。

数学

- A: 四角柱の底面積と体積を求めること以外は図形の領域については概ねよくできている。しかし、分数の乗法の計算、数の範囲を拡張することで四則計算の可能性が拡大されること、加減乗除を含む正の数と負の数の計算において計算のきまりにしたがって計算をすること、数量の関係や法則などを文字式で表現すること、少数を含む一元一次方程式を解くこと、連立二元方程式の意味の理解や関数関係の意味の理解、一次関数のXが1増加したときのYの増加量についての理解、与えられた式の2つの数量関係が反比例であることの判断、ヒストグラムから資料の傾向を読み取ることなど、数と式の領域と数量関係の領域でできていないのが目立つ。
- B: 資料の傾向を的確に捉え数学的な表現を用いて説明すること、与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができていないが、図形をはじめ他の領域については概ねよくできている。

### 7 学習状況調査結果と考察

◎ 松崎中学校の特徴が表れている項目について記述している。

- ・福岡県と5%前後の差は同等ととらえている。
- ・数値は「肯定的に回答したものの割合」で%で示す。

表示: 本校の% (福岡県の%) (全集計の%)

質問項目	本校の%	福岡県の%	全集計の%
朝食は食べてるか	93.6	(91.8)	(92.3)
学校に持って行くものを事前に確かめているか	92.1	(81.8)	(83.6)
物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか	95.0	(93.1)	(93.4)
自分には良いところがあると思うか	62.8	(60.4)	(61.4)
携帯電話で通話やメールをしているか	55.0	(55.6)	(51.8)
家の手伝いをしているか	67.1	(63.4)	(64.2)

考察			
<p>基本的な生活習慣が身につけており、規則正しい生活のリズムができている生徒の割合が多い。また、福岡県の平均からすると、自己肯定感や充実感が高い。社会では携帯電話を利用した犯罪行為などが増える中、半数以上の生徒が携帯電話を持っており、メディアリテラシー教育が重要である。昨年度と比べると、家の手伝いをしている生徒が多く、家族の一員としての自覚が高くなっている。</p>			

表示：本校の%（福岡県の%）（全集計の%）

質問項目			
自分で計画して勉強しているか	45.0	(44.1)	(44.7)
家で学校の宿題をしているか	83.5	(81.6)	(80.8)
学校の授業の予習をしているか	30.0	(25.3)	(24.3)
学校で友達に会うのは楽しいか	92.9	(95.1)	(94.7)

考察			
<p>家庭学習は、与えられた課題（宿題）が中心で、自ら積極的に計画を立てて勉強する（自学）習慣については、福岡県平均より高いものの45%程度であり、身についた生徒は少ない。学校での友達関係はよく、90%を超えており学校生活を楽しくしている生徒が多い。</p>			

表示：本校の%（福岡県の%）（全集計の%）

質問項目			
地域の行事に参加しているか	37.2	(30.6)	(36.4)

考察			
<p>公民館を中心とした地域の諸団体の企画した子ども達を対象とした地域行事が多く、多くの子ども達が昨年度より参加しており、共育（学校・家庭・地域の連携教育）が進んでいる。</p>			

表示：本校の%（福岡県の%）（全集計の%）

質問項目			
近所の人と会ったときは挨拶をするか	85.0	(85.2)	(83.4)

考察			
<p>普段の生活の中で、自然な形で挨拶ができる生徒が多い。学校での挨拶の大切さの指導もあるが、地域の方々の子供達への積極的な声かけも、子供達の挨拶が定着する大きな要素となっている。</p>			

表示：本校の%（福岡県の%）（全集計の%）

質問項目			
読書は好きか	76.4	(65.8)	(66.9)
国語の勉強は好きか	54.3	(60.3)	(59.3)
国語の勉強は大切だと思うか	89.3	(88.5)	(88.0)
数学の勉強は好きか	52.9	(49.9)	(52.7)
数学の勉強は大切だと思うか	72.8	(79.5)	(78.1)

考察			
<p>本校は朝読書の時間を設け、普段から本に親しむようにしているが、学校の図書室を利用する生徒も多く、福岡県平均より約10%高く読書好きが多い。教科の学習については教科によって得意不得意、好き嫌いはあるが、学習内容の大切さについては多くの生徒が認識しており、真剣な授業態度に繋がっていると思われる。</p>			

## 8 今後の取組

松崎中学校の生徒は、落ち着いた学習環境の中で学習ができています。学力と学習状況とは密接な関係があり、生徒の落ち着いた生活状況は学力を向上させるための下地が整っていると考えます。さらに学力を向上させるために、学校としてこの調査結果を踏まえながら、課題の改善のため次のような取組をしていきます。まず、分かる授業づくりのための授業改善の研修と実践をしていきます。そして子ども達に、自ら積極的に勉強するように家庭学習の習慣を定着させることが大切だと考えます。本校の本年度の校内研究テーマが「豊かな自己表現力を身につけた生徒の育成」であり、自分自身が学んだこと、考えたことを自らの言葉で表す力を育成する取組となっています。今後についても引き続き授業改善を図り、生徒自身が自分の考えをまとめ表現する機会を多く設定していきたいと思えます。具体的には、各教科でレポートを作成したり、作文などに力を入れていきたいと思えます。家庭学習の定着には自学ノート（自ら課題を見つけ、自ら計画的に取り組む1ページノート）のさらなる充実を図っていきたいと考えています。子ども達の学習環境の支えである安心・安全な学校生活は、地域の方々との積極的な子ども達へのかわりによって支えられています。松中まつりや20kmハイキング、地域で行われる各種スポーツ大会や運動会に積極的に参加することによって子ども達同士の、また地域の方々との良い人間関係が醸成されていると思えます。これからは学校・家庭・地域がそれぞれの責任を果たしながらしっかりと連携をとって子ども達を「共育」していきます。ご協力の程よろしくお願いたします。